

平成 28 年度学校教育自己診断アンケート実施結果

◎平成 28 年度の学校教育自己診断アンケートの実施機関と回収枚数

対象	アンケート実施期間	回収枚数
児童・生徒	11/1 ～ 11/11	51 枚
保護者	11/26 ～ 12/9	8 枚
大阪整肢学院職員	10/31 ～ 11/11	56 枚
本校教職員	10/31 ～ 11/11	52 枚

◎質問内容と肯定的な回答の割合

質問分類	質問内容	児童 生徒	保護 者	学院 職員	教職 員
①学校に対する意識	学校は楽しい。楽しみにしている。	90%	100%	82%	96%
②生徒指導に関する意識	カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	—	—	—	60%
③進路指導に関する質問	将来について考えたことがあるか。	60%	—	—	—
	適切な進路指導を行っている。	—	88%	21%	54%
④教育相談に関する質問	自分の考えや思いを話せる先生がいる。	83%	—	—	—
	児童生徒が担任以外に相談できる体制がある。	—	—	—	70%
⑤道徳・人権教育に関する質問	友だちは大切・好き。	90%	—	—	—
	命の大切さ、ルール、マナーを学んでいる。	70%	—	—	—
	学校は命を大切に作る心やマナーを守る態度を育てている。	—	88%	36%	88%
⑥学校行事に関する質問	学校行事は楽しい。魅力を感じている。	89%	100%	51%	87%
⑦障がい理解に関する質問	先生が好き。	94%	—	—	—
	先生はあなたの気持ちを理解している。	65%	—	—	—
	指導内容・指導方法を工夫・改善している。	—	—	—	88%
	個別の教育支援計画は活用されている。	—	—	—	67%
⑧学習指導に関する質問	学校は子どもの障がいを理解している。	—	88%	27%	—
	勉強は楽しい。	94%	—	—	—
	授業は分かりやすい。	85%	—	—	—
	授業で児童生徒の力を伸ばせている。	—	—	—	84%
⑨情報提供に関する質問	学校は子どものニーズに合った教育を行っている	—	88%	29%	—
	学校と学院連携して子どもの支援に当たっている。	—	88%	31%	40%
⑨情報提供に関する質問	学校・学院・保護者と情報交換ができています。	—	86%	25%	50%

※②生徒指導、③進路指導、⑤道徳・人権教育、⑦障がい理解、⑧学習指導の項目で整肢学院職員と児童生徒・保護者・教職員との評価に開きがある。

※情報提供については学校職員の数値は昨年に比べ 10%ほど上がっている。整肢学院職員の評価は依然低い自由記述においては教職員同様『ケースカンファレンスに学校職員が参加できるようになり、子どもたちの学校での様子がよく分かるようになった』旨の記述が複数あった。H29 年以降については全員分のケースカンファレンスに教職員が参加できるよう学校と学院との行事の日程調整を行う。